

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校を好きだと感じている生徒の割合が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な生徒理解、信頼関係づくりに努め個に応じた指導により学校生活をサポートする。 ・「羅針盤」の評価項目・具体的数値項目を全職員に周知し、自身の目標設定及び指導の指針とし、年間を通して改善に努める。 ・教育課程の見直しを通し、生徒の進路希望に応じた必修科目及び選択科目を用意し、生徒の習熟度に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・各生徒の個性、能力の情報の共有により、部活動連動型の授業・専門科の少人数指導を効果的に実施する。 ・校長による授業観察やステップアップサポート事業による教員相互の授業観察・授業研究を通じて常に授業を振り返り改善を図る。 ・毎朝実施の「朝の読書」、図書館オリエンテーション、LHR読書会や推薦図書リストの発行などを通して、生徒の読書習慣の確保に努める。 ・授業の予習・復習を徹底させる。 ・教科間で連携して課題等を適切に課し、その提出状況を学年内で共有し組織的な指導を行う。 ・英語検定に対する生徒の意識を高めるとともに、全体的な基礎学力の向上を図り、学力の上位の生徒に対しては応用力の育成も図る。 ・学年会議の議事録を管理職に提出する。また職員会議等において、生徒に関する情報の共有化を図る。 ・毎朝の登校時指導や日常の学校生活において、教職員からのあいさつを積極的に行っていく。 ・職員と生徒で共に考え、規律ある学校生活を送れるようにする。特に集会や委員会での呼びかけを積極的に行っていく。 ・交通安全教室と年2回の自転車点検、「交通安全だより」の発行等を通じて、生徒の交通安全意識の高揚を図る。 ・月に1回の「保健だより」の発行により、健康管理に関する情報を常に発信し、家庭と協力して取り組む。 ・教育相談係を中心として、全職員への情報提供や専門家によるカウンセリングを通して、組織的な相談体制を強化する。 ・アンケートを年2回実施し、組織的に情報を共有することにより、いじめの早期発見と解消に取り組む。 ・部活動紹介や活動環境整備を通して、加入率の向上と活動内容の充実に努める。 ・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせ、主体的に防止活動へ関わられるように指導していく。 ・生徒会行事の企画立案・準備段階において「他者とともに作り上げていく」という意識がもてるように指導を工夫する。 							
		②各職員が「本年度の重点目標」、「羅針盤」を指針として自己目標を設定し、教育活動の改善に努めている。								
		③習熟度別授業（数学・英語）に満足している生徒が85%以上である。								
		④専門教科の授業に満足している生徒が85%以上である。								
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤主体的・探究的な授業への取組を進め、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。								
		⑥「朝の読書」を含め、生徒が1年間に12冊以上の本を読んでいる。								
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦生徒の家庭での1日の平均学習時間は、1,2年生で80分以上である。								
		⑧実用英語技能検定の合格者が、2級5名、準2級30名以上である。								
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨学年会議等において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。								
		⑩登校時指導等を通じて、あいさつ・服装・遅刻防止に関する指導を進め、生徒のあいさつができてきているという評価が70%以上（教職員アンケートによる）である。								
		⑪服装頭髪指導の係指導の対象となる生徒が10名以下、遅刻指導該当者が年間15名以下である。								
		⑫自転車点検や事故防止啓発活動を通じて、過失事故や重大事故を0にする。								
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬生徒の健康診断に基づく受診率が50%以上である。								
		⑭不登校の生徒0を目指す。								
		⑮いじめの未然防止に努め、いじめ問題解決率100%を目指す。								
	6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑯部活動に加入している生徒が、70%以上であり、充実していると感じている生徒が70%以上である。								
		⑰LHRでのいじめ防止活動に主体的に取り組んでいる生徒が70%以上である。								
		⑱生徒会行事を作り上げる過程で、仲間意識をもつことや他を認めることの大切さを認識している生徒が70%以上である。								

IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	<p>⑱進路関係の行事や学習が役立っていると思う生徒が80%以上である。</p> <p>⑳文化祭や送別会等の生徒会行事に満足している生徒が85%以上である。</p>	<p>・学年や生徒の進路希望に応じた進路プログラムの作成により、進路学習や行事を推進し、生徒が自らの目標を適切に設定できるようにする。</p> <p>・準備段階から生徒会役員を中心として、企画立案をさせることにより、生徒が主役となるような行事運営を進めていく。</p> <p>・二者面談、三者面談を通じて、生徒一人ひとりの進路希望を把握するとともに、進路実現のための適切な情報提供を組織的に行う。</p>						
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	<p>㉑将来の職業や卒業後の進路について考え、進路実現のための課題を意識できた生徒が80%以上である。</p> <p>㉒進路別講演会・大学見学・大学模擬授業などの進路行事に積極的に取り組んだ生徒が70%以上である。</p>	<p>・進路指導部を中心として各学年が連携をし、生徒の実態に即した指導を展開していく。</p>						
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉓PTA総会に参加している保護者が50%以上、専門学科ガイダンスに参加している保護者が80%以上である。	<p>・PTA総会等の保護者あて通知が必ず保護者に届くように生徒を指導するとともに、ホームページ、「PTAだより」等を活用し広報活動を徹底する。</p>						
		㉔オープンスクールで「学校の様子がわかった」と答えた参加者が80%以上である。	<p>・学校行事を中心に校内の情報を広く発信し、本校教育活動内容が理解しやすいように努める。</p>						
		㉕学校のwebページを各行事等が終了の都度、早い段階で更新している。	<p>・各分掌・組織と連携し、情報を素早く収集できるような環境の整備を図り、適時に掲載していく。</p>						